

氏名	筒井 孝子	部署	保健医療福祉学研究科 研究開発センター	職名	教授
研究分野	社会サービス評価方法の開発, Evaluation in Social Services				
学位	医学博士 工学博士 社会学修士 教育学修士				
学歴	1988年 筑波大学大学院教育研究科修士課程教育学修士課程修了 1991年 日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了 1995年 日本大学大学院理工学研究科博士課程建築学専攻修了 2007年 日本大学大学院医学研究科博士課程修了				
経歴	2002年 国立保健医療科学院福祉サービス部福祉マネジメント室長 2011年 国立保健医療科学院統括研究官 2014年 兵庫県立大学大学院経営研究科教授 2021年 兵庫県立大学大学院社会科学研究科教授 2025年 兵庫県立大学大学院名誉教授 2025年 兵庫県立大学大学院客員教授 2025年 兵庫県立大学大学院客員研究員 2025年 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 研究開発センター教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本医療・病院管理学会、日本介護経営学会、日本社会福祉学会、日本口腔科学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	ジェネラリスト教育コンソーシアム vol.20 看護必要度データが変える！多職 種協働と地域連携の実践ガイド	共著	あり	カイ書林.147ページ	筒井孝子・嶋森好子・徳田安春： 編集	2025.9	
2	科学的政策立案の羅針儀 -行動変容を促す「保険者機能評価」の新 たな考え方-	単著	あり	医療科学研究所.110ページ	筒井孝子	2026.2	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Multimorbidity patterns and prevalence among geriatric patients in Japanese hospital dentistry	共著	あり	○	BMC Geriatrics(25)1	Kousuke Matsumoto;Takako Tsutsui;Ryu Hashimoto;Mitsuaki Sakakura;Tetsuari Onishi;Masaya Akashi	2025.5
2	巻頭論文：看護必要度データを基軸とし た「ケアの連続体」の実現：多職種協働 と地域連携強化への貢献	単著	なし		ジェネラリスト教育 コンソーシアム.20, 看護必要度データが 変える-多職種協働 と地域連携の実践ガ イド-,20-33, 2025	筒井孝子	2026.2
3	マルチモビディティ高齢入院患者に対す る看護必要度を活用した病院歯科医療の 層別化と多職種協働の実践	共著	あり		ジェネラリスト教育 コンソーシアム.20, 看護必要度データが 変える-多職種協働 と地域連携の実践ガ イド-,98-103, 2025	松本耕祐,筒井孝子,生田芙美, 小畑裕史,桑山一行,明石昌也	2026.2

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	科学的政策立案の羅針儀 ー行動変容を促す「保険者機能評価」の 新たな考え方ー	単独	医研シンポジウム2025,東京	○筒井孝子	2025.9.29
2	介護保険における保険者機能の特徴と評価	単独	第84回（2025年）日本公衆衛生学会総会,国立保健医療科学院 企画シンポジウム,静岡	○筒井孝子	2025.10.31
3	インセンティブ交付金評価における市町村保険者機能の都道府県別地域差	共同	第84回（2025年）日本公衆衛生学会総会,静岡	○大冨賀政昭, 東野定律, 筒井孝子 (ポスター発表)	2025.10.31
4	「看護必要度」の変遷と機能分化の深化 ー地域完結型医療における多職種協働連携の共通言語ー	単独	第17回日本臨床マネジメント学会学術大会,東京	○筒井孝子	2026.2.7
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	介護現場の安全性向上のためのデータベースの開発と研修カリキュラムに関する研究		研究代表者	2024.4～2028.3
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	地域包括ケアシステムにおける日常生活圏域モニタリングシステムの開発		研究分担者	2024.4～2028.3
3	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	財務状況からみた公的病院の政策医療の今後のあり方		研究分担者	2022.4～2026.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	病院・介護・福祉施設運営管理論	○	15	医療・介護・福祉施設の経営管理に関する理論的知識の習得に加え、実践への応用力を養うことを重視した。具体的には、厚生労働省の政策動向や診療報酬・介護報酬改定の最新データを毎回の講義に反映させ、理論と政策の連動を意識させる構成とした。また、人材不足問題については、実際の施設事例をもとにグループディスカッションを行い、受講者が自施設・自組織の課題として主体的に考察できるよう工夫した。	
2	医療・介護サービス・マネジメント論①②	○	15	社会保障制度の変化と組織マネジメントの実践を結びつけるため、制度改正の背景・根拠となるデータを示しながら講義を進めた。さらに、受講者が各自の職場における課題をレポートとして言語化するアクティブラーニング型の課題を取り入れ、知識の定着と現場への転用を促した。	

3	地域包括ケアシステム論	○	15	地域包括ケアシステムの理念・制度的背景を解説するとともに、自治体・多職種の実践事例を豊富に取り上げ、抽象的な概念を具体的な政策・地域課題と結びつけて理解できるよう構成した。また、介護保険の保険者機能評価に関する自身の研究成果を教材として活用し、エビデンスに基づく政策立案の視点を学べるよう工夫した。受講者が地域の実情を比較・分析するグループワークを設けることで、批判的思考力と多職種連携の素地を涵養した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	修士論文	2025.4～2026.2	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員）1名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	看護必要度を用いた多職種協働研修会	ジェネラリスト教育コンソーシアム;日本臨床看護マネジメント学会	看護必要度を利用した多職種協働の推進	2025.6.1	
2	2025年度認定看護管理者教育課程 サードレベル	広島県看護協会	ヘルスケアシステム論Ⅲ 社会保障制度・政策の動向	2025.6.21	
3	介護予防支援センター研修会	福岡県筑後地区介護予防支援センター	医療・介護連携の未来と久留米地域包括ケアシステムの再構築	2025.8.27	
4	人材育成プログラム フォローアップ研修	公益社団法人京都保健会	多死社会・マルチモビディティ時代を勝ち抜く経営戦略 -患者中心の多職種連携を再定義する-	2025.8.30	
5	25'「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	2025年からの地域医療構想の展開と病院経営のあり方	2025.6.30～9.30	
6	25'「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	看護必要度データを活用した地域医療の将来と展望	2025.6.30～9.30	
7	ケア学と進化生態医学の中の第3回講義「ケアの生命考古学」	帝京科学大学	「ケア」の系譜：古代の共存戦略から未来へ	2025.10.6	
8	介護プロフェッショナルキャリア段位制度令和7年度アセッサー講習	一般社団法人シルバーサービス振興会	介護キャリア段位制度の今とその意義	2025.10.21～12.2 2026.1.14～2.24	

9	介護プロフェッショナルキャリア段位制度令和7年度アセッサー講習	一般社団法人シルバーサービス振興会	評価項目の理解 地域包括ケアシステムについて	2025.10.21～12.2 2026.1.14～2.24
10	介護プロフェッショナルキャリア段位制度令和7年度アセッサー講習	一般社団法人シルバーサービス振興会	介護プロフェッショナルキャリア段位制度の今後	2025.10.21～12.2 2026.1.14～2.24
11	～2026年度診療報酬改定の動向を踏まえて～看護必要度ステップアップ研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	2026年度診療報酬改定の動向 - 「病棟単位」から「病院機能」評価への転換、2040年を見据えた戦略 -	2026.3.10～
12	～2026年度診療報酬改定の動向を踏まえて～看護必要度ステップアップ研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	2040年を見据えた「病院機能の証明」 - 「ケアの連続体」構築に向けた看護必要度の戦略的活用 -	2026.3.10～
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	介護プロフェッショナルキャリア段位制度「レベル認定委員会」(一般社団法人シルバーサービス振興会)		委員	2013.1～現在
2	東京都 社会福祉審議会		委員	2014.3～現在
3	埼玉県和光市 ヘルスソーシャルキャピタル審議会		委員	2014.3～現在
4	経済産業省 日本工業標準調査会		委員	2015.4～2025.5
5	介護職員資質向上促進事業「評価方法・講習に関する検討委員会」(一般社団法人シルバーサービス振興会)		委員長	2016.6～現在
6	「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」アセッサー講習会(一般社団法人シルバーサービス振興会)		外部審査員 講習会講師	2016.6～現在
7	富山県 社会福祉審議会高齢者専門分科会		委員	2016.9～現在
8	日本専門医機構 共通講習委員会 編集会議(医療福祉制度)		委員	2021.7～現在
9	厚生労働省委託事業「保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の評価指標と活用方策に関する調査研究一式」検証委員会および自治体ワーキンググループ(株式会社日本能率協会総合研究所)		委員長	2021.7～現在
10	令和7年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金 老人保健健康増進等事業「「効果的な施策を展開するための考え方の点検ツール」の都道府県による市町村支援への活用に関する調査研究事業」委員会(株式会社日本総合研究所)		委員	2023.4～現在
11	令和7年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「介護職員の技能等に係る評価のあり方に関する調査研究事業(一般社団法人シルバーサービス振興会)		委員	2023.10～現在
12	介護ICTデータ標準化検討会(ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会)		委員	2024.1～2025.5
13	東京都 介護保険制度における人事給与制度の在り方検討会		委員	2025.5～現在
14	令和7年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金 老人保健健康増進等事業「介護職員の技能等に係る評価のあり方に関する調査研究事業」検討委員会及び介護技能に関する動画検証解析WG(一般社団法人シルバーサービス振興会)		委員及び座長	2025.9～現在

15	令和7年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金 老人保健健康増進等事業「自治体伴走支援における自治体との面談方法の形式知化に向けた調査研究」委員会(株式会社日本総合研究所)	委員	2026.2~現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	病院歯科患者におけるマルチモビディティの有病率と併存疾患パターン 若手優秀ポスター賞	日本口腔科学会	2025.5
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		